

- 問1 アメリカ合衆国のサンフランシスコの気象データを確認すると、6月から9月にかけて気温が15度から20度程度まで上昇する一方で、降水量の数値がほぼゼロに近い状態が続いています。このような気候的特色を持つ地域で、夏季の乾燥に適応するために発達した農業の形態として、最も適切なものはどれですか。 (2021年 埼玉県公立入試 類似)

1. モンスーンによる夏季の豊富な降水を利用して、稲作を行う。

2. 年間を通じて平均した降水があるため、小麦栽培と家畜の飼育を組み合わせる。

3. 夏季も気温が上がらないため、酪農を中心とした食料生産を行う。

4. オリーブやブドウなど、乾燥に強い果樹の栽培を行う。
- 問2 世界の農産物生産に関する統計資料において、生産量の割合が高い国としてロシアやカナダが含まれる農作物を、次のうちから選びなさい。なお、比較対象となる別の資料では、インドネシアやベトナムといった熱帯の国々の生産割合が高くなっています。 (2022年 高知県公立入試 類似)

1. 小麦

2. サトウキビ

3. 稲

4. トウモロコシ
- 問3 地中海性気候の地域では、その独特な降水パターンに合わせて工夫された農業が行われています。この地域で行われる農業の説明として、最も適切なものはどれですか。 (2018年 岐阜県公立入試 類似)

1. 広大な乾燥地帯を活かし、地下水路を用いた大規模な綿花栽培が行われている。

2. 夏季の高温多湿な気候を利用して、一年に二回米を作る二期作が行われている。

3. 夏季の乾燥に耐えられるオリーブやブドウなどの果樹栽培が盛んに行われている。

4. 年間を通じて冷涼で雨が多いため、根菜類やライ麦の栽培と家畜の飼育を組み合わせている。
- 問4 イギリスのロンドンなどに見られる気候において、年間の気温と降水量の推移を示した資料の特徴を説明したものとして、最も適切なものはどれか。 (2023年 茨城県公立入試 類似)

1. 一年中気温が高く、スコールと呼ばれる激しい雨が降るため、降水量のグラフが常に高い水準にある。

2. 月ごとの降水量が年間を通じて安定しており、最暖月の気温が20度前後、最寒月の気温が5度以上である。

3. 夏季に降水量が極端に少なく乾燥し、オリーブやブドウの栽培に適した気候である。

4. 夏と冬の気温差が非常に大きく、冬の降水量は夏に比べて極端に少なくなる。
- 問5 南アフリカ共和国のケープタウンは、イタリアのローマと同じく地中海性気候に属しています。ケープタウンにおける降水量の推移について述べた文として、正しいものはどれですか。 (2023年 徳島県公立入試 類似)

1. 西岸海洋性気候の影響を受け、10月頃に最も降水量が多くなる。

2. 南半球に位置するため、1月頃に降水量が最も多くなる。

3. 南半球に位置するため、7月頃に冬の雨季を迎える。

4. 赤道に近いため、年間を通じてスコールのような激しい雨が降る。
- 問6 温帯の気候区分の一つで、夏季には亜熱帯高圧帯の影響を受けて気温が高く乾燥する一方、冬季には偏西風や前線の影響で一定の降水が見られる気候を何といいますか。 (2019年 兵庫県公立入試 類似)

1. 西岸海洋性気候

2. 温暖湿潤気候

3. 地中海性気候

4. 温暖冬季少雨気候
- 問7 赤道付近に位置する地域において、一年を通じて気温が高く、さらに乾季がほとんど見られないほど降水量が非常に多い気候区を何と呼びますか。 (2018年 香川県公立入試 類似)

1. 温暖湿潤気候

2. サバナ気候

3. 熱帯雨林気候

4. 熱帯モンスーン気候
- 問8 1990年と2018年における世界の二酸化炭素排出量を比較した際、日本とアメリカに共通して見られる統計上の特徴として正しいものはどれですか。 (2023年 奈良県公立入試 類似)

1. 1990年と比較して二酸化炭素の排出総量は減少しており、世界全体に占める排出割合も減少している。

2. 1990年と比較して二酸化炭素の排出総量は増加しており、世界全体に占める排出割合も増加している。

3. 1990年と比較して二酸化炭素の排出総量は増加しているが、世界全体に占める排出割合は減少している。

4. 1990年と比較して二酸化炭素の一人当たりの排出量は減少しているが、排出総量は変わっていない。
- 問9 ブラジルのアマゾン川流域などで見られる、森林や草原を焼き払い、その後に残った灰を肥料として利用する伝統的な農業を何といいますか。この農業は、数年間の栽培で土地がやせると、別の場所へ移動して再び同じ工程を繰り返すという特徴があります。 (2020年 鹿児島県公立入試 類似)

1. 企業的な穀物農業

2. ブランテーション農業

3. 焼畑農業

4. オアシス農業
- 問10 東南アジアの島嶼部に見られる伝統的な住居の工夫について、その地域の自然環境と関連付けて述べた文として正しいものを次の中から選びなさい。 (2021年 岩手県公立入試 類似)

1. 広大な草原が広がっているため、家畜の移動に合わせて簡単に解体・組み立てができる住居を用いている。

2. 降水量が極めて少なく乾燥しているため、窓を小さくし、日干しレンガで家を建てている。

3. タイガと呼ばれる針葉樹林が広がっているため、豊富な木材を利用して丸太づくりの住居に住んでいる。

4. 年中高温多湿であるため、高床式住居にして風通しを良くし、湿気や暑さへの対策としている。
- 問11 ヨーロッパの北西部に位置する地域は、高緯度であるにもかかわらず冬の寒さが比較的穏やかで、年間の気温の変化が小さいという特徴があります。このような気候が形成される要因について述べた文として、最も適切なものはどれですか。 (2026年 秋田県公立入試 類似)

1. 内陸部からの上昇気流によって積乱雲が発生しやすく、夏に大量の降水があるため。

2. 赤道付近から吹く貿易風が、大陸内部の乾燥した空気を一年中運び続けるため。

3. 北極海からの冷たい寒流と、大陸から吹き出す乾燥した季節風の影響を強く受けるため。

4. 大西洋を北上する暖流である北大西洋海流と、その上の暖かな空気を運ぶ偏西風の影響を受けるため。
- 問12 ロシアの首都であるモスクワの雨温図に見られる気候的特徴について、その内容を正しく説明しているものはどれですか。 (2022年 香川県公立入試 類似)

1. 最も暖かい月の平均気温でも10度未満であり、一年を通して地面が凍結している。

2. 一年中気温が高く、毎月多くの降水があるため、気温の年較差がほとんど見られない。

3. 夏と冬の気温差が非常に大きく、冬は零下10度近くまで冷え込み、年間を通して一定の降水がある。

4. 夏は高温で乾燥し、冬に集中して雨が降るため、年間を通じた降水量の変化が激しい。
- 問13 東南アジアに位置するインドネシアは、世界で最も多くの信者を抱える国として知られています。この国で最も広く信仰されている宗教に関連する記述として正しいものを、次のうちから選びなさい。 (2019年 佐賀県公立入試 類似)

1. 殺生を禁じ、すべての生命を慈しむために肉食を一切行わない。

2. 生まれ変わりを信じ、ガンジス川での沐浴を聖なる儀式としている。

3. ラマダンと呼ばれる時期には、日中の飲食を断つ生活を送る。

4. クリスマスやイースターといった行事を、国の最も重要な祝祭日としている。

答え合わせ・解説

問1	答え 4 オリーブやブドウなど、乾燥に強い果樹の栽培を行う。	地中海性気候の地域では、夏季に雨がほとんど降らないため、乾燥に強い皮の厚い葉を持つ植物や、地中深くまで根を張る果樹の栽培が盛んです。代表的な作物にはオリーブ、ブドウ、オレンジ、レモンなどがあります。選択肢にある「夏季の降水を利用した稲作」は温暖湿潤気候、「小麦と家畜を組み合わせる混合農業」は西岸海洋性気候から半乾燥帯にかけて見られる特徴です。
問2	答え 1 小麦	世界の主要な食料のうち、ロシアやカナダといった冷涼な高緯度地域で生産割合が高いのは小麦です。対照的に、インドネシアやベトナムなどの東南アジア諸国で生産が盛んなのは、高温多湿な環境を好む稲（米）です。このように、農作物の主要産地はそれぞれの作物の生育に適した気候条件と密接に関わっています。
問3	答え 3 夏季の乾燥に耐えられるオリーブやブドウなどの果樹栽培が盛んに行われている。	地中海性気候の地域では、夏に雨が極端に少なくなるため、水不足に強い作物の選定が不可欠です。オリーブやブドウ、柑橘類などは、葉が小さく硬い、あるいは根を深く張るといった特徴を持ち、強い日差しと乾燥に適応しています。また、雨の降る冬季には小麦を栽培するといった、季節ごとの降水量を考慮した土地利用がなされています。
問4	答え 2 月ごとの降水量が年間を通じて安定しており、最暖月の気温が20度前後、最寒月の気温が5度以上である。	西岸海洋性気候（Cfb）は、偏西風の影響を一年中受けるため、季節による降水量の変動が非常に少なく、毎月一定の雨が降ることが特徴です。また、暖流の影響で冬も極端には冷え込まず、夏は高緯度のために涼しく、気温の年較差が比較的小さいという特徴があります。
問5	答え 3 南半球に位置するため、7月頃に冬の雨季を迎える。	地中海性気候は「冬」に降水量が増える特徴がありますが、南半球にあるケープタウンでは、北半球と季節が逆転することに注意が必要です。南半球の冬は7月頃にあたるため、この時期に降水量が増加します。一方、北半球のローマでは1月頃が冬となり、雨季を迎えます。このように、同じ気候区であっても緯度の違いによって降水が集中する月は異なります。
問6	答え 3 地中海性気候	この気候は中緯度の大陸西岸、特に地中海沿岸で典型的に見られるため、地中海性気候と呼ばれます。夏に乾燥し冬に雨が降るという、日本の大部分（温暖湿潤気候）とは逆の降水パターンを持つことが大きな特徴です。このため、夏季の乾燥に耐えられるオリーブやブドウなどの硬葉樹や果樹の栽培が古くから行われてきました。
問7	答え 3 熱帯雨林気候	赤道直下の地域は太陽のエネルギーを直接受けるため、一年中高温となります。強い日差しによって上昇気流が発生し、午後に「スコール」と呼ばれる激しい雨が降るため、年間を通じて多雨な環境が形成されます。同じ熱帯でも、明確な乾季があるサバナ気候とは区別されます。
問8	答え 3 1990年と比較して二酸化炭素の排出総量は増加しているが、世界全体に占める排出割合は減少している。	日本やアメリカなどの先進国では、経済活動の継続やエネルギー消費の変化により、1990年時点と比較すると二酸化炭素の排出総量自体は増加しています。しかし、同じ期間に中国やインドといった新興国が急速な工業化を遂げ、それらの国々による排出量が爆発的に増大したため、世界全体の排出量に対する日本とアメリカの占める割合は相対的に低下しました。
問9	答え 3 焼畑農業	熱帯の土壌はもともと養分が少ないため、樹木を焼いた後に残る灰を貴重な肥料として利用します。数年間の栽培を続けると土壌の栄養分（地力）が使い果たされてしまうため、周辺の森林の自然回復を待ちつつ、別の場所へ移動して耕作を繰り返す循環的な仕組みになっています。
問10	答え 4 年中高温多湿であるため、高床式住居にして風通しを良くし、湿気や暑さへの対策としている。	世界の諸地域では、その土地の気候や地形に合わせて住居の形式が発展してきました。インドネシアなどの東南アジア島嶼部は熱帯雨林気候に属し、多雨で蒸し暑い環境にあります。そのため、風通しを最優先した高床式の構造が選ばれています。一方で、乾燥帯では日干しれんが、モンゴルのような乾燥した草原では移動式の住居、ロシアのような冷帯では丸太小屋（イズバ）といったように、それぞれ異なる工夫が見られます。
問11	答え 4 大西洋を北上する暖流である北大西洋海流と、その上の暖かな空気を運ぶ偏西風の影響を受けるため。	ヨーロッパの西岸地域は、高緯度であっても暖流である北大西洋海流の影響を受けています。この暖流の上で温められた湿った空気が、一年中吹く偏西風によって陸地へと運ばれるため、冬でも気温が下がりにくくなります。その結果、同緯度の他の地域に比べて夏と冬の気温差（年較差）が小さくなるという西岸海洋性気候の特色が生まれます。
問12	答え 3 夏と冬の気温差が非常に大きく、冬は零下10度近くまで冷え込み、年間を通して一定の降水がある。	モスクワが属する亜寒帯（冷帯）は、大陸内部に位置することが多いため、海の影響を受けにくく、夏と冬の気温差（年較差）が大きくなります。雨温図上では、気温を示す折れ線グラフが急な山型を描き、降水量を示す棒グラフは極端な乾燥期がなく並んでいるのが特徴です。
問13	答え 3 ラマダンと呼ばれる時期には、日中の飲食を断つ生活を送る。	インドネシアは、世界最大のイスラム教徒（ムスリム）人口を持つ国です。イスラム教の暦における第9月（ラマダン）には、日の出から日没まで一切の飲食を断つ「断食」が行われ、信仰心を高めるとともに貧しい人々の苦しみを分かち合います。